

令和8年度中野市観光振興審議会 会議録

日 時 令和8年7月27日（月）午後2時00分～午後3時03分
会 場 中野市役所 51 会議室
出席者 （委員）5名
佐々木真、矢野浩、沼田拓也、三澤貴生、小橋あかね
※1名所用にて欠席（平井義高氏）
市長、（事務局）4名
経済部長、商工観光課長、課長補佐兼観光交流係長、観光交流係

1 開 会

2 あいさつ （市長）

開催にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。委員の皆様には、ご多用のところ中野市観光振興審議会にご出席いただき、心より御礼申し上げます。

本審議会は、中野市の観光資源の開発や観光事業の発展に向けた基本計画についてご審議いただく重要な場です。本日は、「観光・商業振興施設のあり方」についての諮問・協議、そして「豊田赤坂農村公園ドッグランフリーエリア整備事業」についての協議をお願いするものです。観光・商業振興施設については、日本土人形資料館、まちなか交流の家、中野陣屋・県庁記念館の3施設を統合し、市街地に新たな文化・交流拠点を形成する方針を示しております。来館者数の変化や立地条件、機能の重複など、現状に合わせた見直しが必要と判断したものです。

また、ドッグラン整備事業では、既存施設に加え、愛犬と泊まれるキャンプサイトやアジリティ設備の整備を検討し、道の駅ふるさと豊田との一体的な魅力向上を目指します。

本日のご審議を通じて、中野市の観光振興をさらに前進させたいと考えております。委員の皆様には、率直なご意見を賜りますようお願い申し上げます。

3 会長、副会長の互選

【選出方法 意見なし】

【立候補者なし】

（事務局）

中野市農業協同組合 佐々木氏を会長、信州中野商工会議所 矢野氏を副会長に提案。

【意義なしの声】

(会長) 議事進行

席の移動及びあいさつ

4 諮問 「観光・商業振興施設のあり方について」

市長から会長あてに諮問

事務局が資料に沿って説明。なお、レイアウト案、予算案、スケジュール案等は中野市情報公開条例第7条5号により非公開情報とする旨を説明。

【意見等】

(委員)

1階部分の厨房、事務所部分を含めて使い勝手のいい形で形成してほしい。また、今のままだと収容人数等にも課題が出てくる可能性がある。陣屋1階に中野の歴史があり、大変いい展示になっているので、エレベーター前のギャラリーに展示するなど工夫して知っていただくいい機会になればよい。土人形は重いので仮に2階部分に展示する場合は耐震が大丈夫か確認したい。また、絵付けには水回りが必要になっており、高齢の方の来館もあることから、2階にトイレもあるといいのではないかな。加えて、バスで資料館に来る団体もあり、現状陣屋前の広場は不特定多数の利用があり、すぐにバスが停められる状況にない。そのあたりも考えていかなければいけないと思う。

(事務局)

まず、今回の審議会は3施設を一体化することの妥当性、3施設の在り方についての大きな方向性を示すための審議を行いたいと考えている。具体的な設計等に関しては今後決めていくこととなる。もちろん皆様から具体的な意見があればお聞きし、必要があればその方向で答申をしていくこととなる。

耐震化はしているが確認はしていく。バスの駐車場に関しても陣屋前広場公園の活用を検討していきたい。常設の展示（中野の歴史）やトイレの設置についても今後設計業者を入れてよりよい形になるように検討していきたい。

(会長)

3施設のあり方について、事務局からは陣屋に集約するという案をいただいております、今の委員からはそれについては特に反対はないという意思表示がされたところだが、他の委員の皆様の意見はどうか。

(委員)

陣屋の利用者について3万人となっているが、どのような利用者という位置づけか。

(事務局)

3万人は来館者数であり、常設展や企画展、カフェの来客も合わせた数となっている。

(委員)

常設展や企画展以外の利用はそうでもないか。

(事務局)

カフェで一定の利用者はいるが、企画展示での来館者数も多い状況である。

(委員)

2施設分(まちなか、資料館)の来館者数を合わせても、施設の利用に支障がなければ、施設利用の圧縮ができるので統合していいのではないかと思います。

(委員)

陣屋利用者の3万人はまだ少ないのではないかと考えており、2施設分と合わせても3万6千人となり、これで満足していい数字ではないと思う。統合に関しては費用面等を考えるといいと思うが、単純に足し算だけだと現状が変わらないのではないかと思います。ちなみに利用者は県内か県外か等の統計はとっているか。

(事務局)

来館者数に関して、そこまで詳細のものは取っていない。

(委員)

市民をターゲットにしているのか、県外客をターゲットにしているかがわからない。

(事務局)

常設の展示は市民の方が多く利用されている。施設としては合算した3万6千人を目指しているのではなく、より多くの方に来てもらえる施設を考えていきたい。陣屋は無料施設のため、統計が取れない部分があるのは事実だが、近年外国からお越しになる方にも山ノ内町の地獄谷温泉と関係を持ち、絵付け体験をアピールしており、陣屋周辺にもカフェができていることもあり、街の回遊性を高める、相乗効果を生み出す取り組みをしていきたい。

(委員)

陣屋に統合する理由はあるか。土人形資料館は駐車場も広く、中野市に来る人は車で来るため、立地がそこまで悪いのは考えられない。

(事務局)

まちなか交流の家と土人形資料館では同じ絵付け体験ができるが、土人形資料館まで行くより、まちなか交流の家をご利用になれる声も多い。回遊性、周遊性を高めるための総合的な観光施設の案として選定している。駅からも近く、利用しやすい場所でもある。

(委員)

各施設にあまり行ったことがないが、できるだけ集約して活用していくことが必要だと思う。

(会長)

各委員の意見を聞くと集約することについてはいいのではないかという意見が多数であった。ただ、集約するにあたって、施設の配置や構造等をどうしていくかについてはこれから考えていくべき課題だと思う。(配置、水回り、トイレ、バス、常設展等)

(委員)

これからの話として、具体的に KPI や KGI は施設としてどのような数字を出していくか、その数字にどうアプローチしていくかは今後考えていく必要があると思う。数字として定量的に表せるものが必要である。

(会長)

目標、どういったプロモーションをしていくかは検討していく必要がある。他に意見が無ければ、次回答申を検討する回を設けて、その場で話し合っていく必要がある。今回の意見を反映した答申案を作成したものを次回話し合っていくこととする。

5 協議「ドッグラン フリーエリア整備事業について」

(事務局)

事務局が資料に沿って説明。なお、予算案は中野市情報公開条例第7条5号により非公開情報とする旨を説明。

(委員)

ドッグランの施設を知らなかったが、どのぐらいの利用者がいるものなのか

(事務局)

無料施設のため、利用者はカウントしていない。ドッグランは平日でも犬連れの家族

でにぎわっている様子がある。未利用スペースは誰もいない状態である。

(委員)

定量的にどのぐらい来ているかわからないところに費用をかけることに疑問が残る。また、キャンプサイトだけで収益化が出来ているものなのか。

(事務局)

キャンプサイトだけではなく、総合的なキャンプ場もあるため一概には言えない。ドッグランの専門業者の情報だと、ここでしか生み出せない価値があることは確認している。利用者数はカウントできないが、平日でも早朝でも土日は特ににぎわっている状況である。豊田のドッグランは芝が管理されているので、犬の足が汚れなくてありがたいという意見がある。反面、手前の広場の利用はない状況である。

(委員)

ここにしかないもの、ここでしかできないことを目指すべきだと思っており、ある意味とがったアイデアも必要だと思う。

(委員)

私自身犬を飼っており、家が近所ということもあり、よく利用させてもらっている。水道もシャワーも完備されていて無料だともったいないと感じるぐらいいいドッグランだと思っている。芝生の広場が公園だと認識しておらず、誰も認識している人はいないのではないかと思う。子どもの遊具があるわけでもないので、まずは公園としての認知度を高めるべき。日影が少ないのも課題である。野沢温泉へのお客さんが帰る前（高速に乗る前）に犬に運動させてから帰る人もよくいる。場所もよいため、お金をかけるのであれば、もう少し収益面も考えて、深堀してほしい。市民は無料にして、それ以外はいくらか取るなど、その管理を道の駅ですることによって相乗効果も得られると思う。整備をするのであれば、経済効果も考えていくべきだと思う。

(委員)

私も犬を飼っているが施設だと思う。小布施だと泥だらけになってしまい、他を探すと上田や妙高になってしまう。飯山の道の駅にもドッグランが検討されているようなので、それに負けない唯一無二の施設にしてほしい。今後のビジョンをしっかりと出してほしい。アジリティは雪が多い施設でも大丈夫であるか。

(事務局)

見積もり業者に多雪地域であることは伝えてあり、アジリティも多雪対応になっている。

(委員)

周辺に飯山の動物病院がペットホテルを検討されていることもあり、官民連携し、その地域全体としてペットを連れて行きたくなる場所にできればいいと思う。道の駅の駐車場もパンクしてしまうこともあるため、何かいい案があればと思っている。

(委員)

私も犬を3匹飼っており、何度か利用したことがある。同様に芝生のスペースがなんの場所か不明であった。利用した時に多く利用者がいたことはわかったが、利用者がどのぐらいいるかがやはりわかった方がいいと思う。

(会長)

公園部分（未利用スペース）がなんの場所であるか不明であるため、活用は必要であるという意見は一致しているが、どのぐらいのものを投資するかについてはより深い議論が必要だと思われる。私から意見を言われてもらおうと、アジリティスペースは小型犬、大型犬で分ける必要はないか、また駐車場も停めづらい構造になっているため、今後の活用についてより検討が必要だと思う。

(事務局)

駐車場については認識している。反対側の駐車場をうまくつなげられないかと検討はしていきたい。道の駅との連携も考え、広報も考慮したうえで進めていきたい。

3施設については諮問となるが、ドッグランについては来年度事業につき、皆様の率直な意見を聞いたところである。今後今回の貴重な意見を踏まえて事業展開していきたい。

(会長)

他に意見等がなければこれで閉じることとする。

6 その他

(事務局)

本日いただいたご意見をもとに、答申についてはこちらからご連絡させていただきます。ドッグランについても引き続きご意見ありましたらいただけますと幸いです。

(会長)

委員の皆様から言い忘れてしまった等他にご意見はないか。ないようであれば、これで閉会とします。

(事務局)

お時間にご都合がつく方で結構なので、3施設（陣屋、まちなか交流の家、土人形資料館）を見学する予定です。（委員2名参加）

7 閉 会

15 : 03 終了